

☆公民館運営審議委員付帯意見

(A：適切で成果あり B：成果はあるが、改善の余地あり C：要改善)

総合評価	委員① A	感染症対策に苦勞されながら、佐倉市ならではの内容で、学習への欲求に応じており、大変有意義である。
総合評価	委員② A	他の講演会等が中止となっている中で、佐倉学に関する興味深いテーマのため、参加希望者が多くいらしたようです。新型コロナウイルスの影響で、今後講演等をどのように実施していくかを、市内の公民館全体で検討していく必要もあると思います。また、今後YouTubeやZOOM等の活用についても検討が必要になるとは思いますが、講座内容や予算と併せて慎重に検討していただきたいと思ひます。
総合評価	委員③ A	地域史に興味がある方々にとって、よい講座であると思ひました。人数を絞ったことで、いろいろ苦情等もあったのは、たいへんでした。中止するのは簡単ですが、コロナ禍でどう行かうかの視点も大切だと思ひました。
総合評価	委員④ A	市民の歴史の関心の高さに驚きました。皆さん講座開催を待ち望んでいたんですね。人気の高さがうかがえました。
総合評価	委員⑤ A	外出自粛が叫ばれる中、講座が人気であったことは良かった。今回参加出来なかった方のためにも是非続けてほしい。
総合評価	委員⑥ A	ふるさと佐倉に対する愛着と誇りを育むことを目的とした達成感も高く、これからも事業継続をお願い致します。
総合評価	委員⑦ A	他館での講座同様、「歴史物」への絶大な支持が表れた申し込み状況でした。人気講師ならではの捉え方はそれでよしとして、少し違った視点で考えてみたいと思ひます。反復継続する講座開催によって、郷土史を研究テーマとしている講師の方々からすれば、さらなる研究意欲の後押しにつながる気がします。公民館が新たな人気講師発掘の場となるよう、時間をかけて講座開催を積み重ねて欲しいと思ひます。佐倉市が存続する限り、郷土史研究は終わりのない大切なテーマですから。
総合評価	委員⑧ A	市民が地域を中近世の古地図や史料を見ながら佐倉において、陸上交通路がどのような側面を持っていたのかを考える講座であり、地域を理解し、ふるさと佐倉に対する愛着と誇りを育むことを目的としている。講座を進めるにあたり新型コロナウイルス感染症拡大防止に健康観察シートの記入、座席指定等の万全な対策で臨み無事に終了している。開催準備に職員は苦慮されたことと思ひます。実施後のアンケート結果でも満足度が高く、併せて事業目的の達成度も高かったことに評価します。コロナ禍での開催には改善策が多々あると思ひますが公民館の優先的の事業と見て学習意欲の高い学びを更に深めるよう期待します。

委員⑨		歴史講座は、人気が高く、参加者を限定せざるをえないが、やむをえないと思う。
総合評価	A	

委員⑩		講座「佐倉・歴史の道」は、配布された古地図類を基に、城から城を結ぶ路や、小見川・香取・銚子などへ至る交通路の説明で、受講者は中世の交通路について地域への理解をさらに深められたと思います。
総合評価	A	佐倉学講座は、毎年各公民館の事業として開催され、特に高齢者の歴史勉学の意欲を掻きたてる人気の事業故、今後も継続をお願いします。

委員⑪		臼井地区も志津と同様に感じます。
総合評価	B	歴史ある街としての臼井と都市化する生活圏、その様な中で、田園豊かな土地と近代的な街並みの両立をやる活動が、若い世代に必要な時だと感じます。都市化する中、どのように今後若い世代を活動の中にとり込めるかが大きな鍵になるかと考えます。

委員⑫		(特になし)
総合評価	A	

委員⑬		・佐倉学は継続してほしいです。
総合評価	A	・主な事業ではありませんが、子ども科学教室は年1回ではなく通年で企画し、児童育成に役立てられないか。

委員⑭		中近世の古地図や文書を使い地名の変遷や、佐倉を通る交通路がもたらしたものの話など様々な視点から佐倉の歴史を伺え興味を持てるものです。佐倉学リレー講座は人気の講座です。密を避けるために希望者の多くを断る結果になったことは残念です。多くの参加希望者がいると予想される時は、これからはYouTube配信やZOOM活用が不可欠になると思われます。そのための各公民館同士の協力を期待します。
総合評価	B	

委員⑮		○佐倉学への市民に関心の高さは変わらないことを感じます。この講座を続ける意義もここにあると言えますし、職員の熱意も伺えます。
総合評価	B	△コロナ禍の中、1回のみ、25名の参加では残念です。早く収束して多くの方が参加できるようになるとよいと思います。実際に現地へ出向く間が待ち遠しいでしょう。